

ポータブル除菌電解水生成機



Cleast 100

クリースト 100



取扱説明書

目次

はじめに

1 運用上の注意事項	1
1.1 安全にご使用いただくために	2
2 製品概要	6
2.1 仕様	6
2.2 各部の名称とはたらき	7
2.3 付属品、消耗品	11
3 使用準備	13
3.1 使用の前に	13
3.2 ノズルホースの接続	13
3.3 給水ホースの接続	13
3.4 電解補助液を入れる	14
3.5 バッテリを取り付ける	15
4 使用方法	16
4.1 使用の準備	16
4.2 生成の方法	17
5 操作パネルの表示内容と各種操作	19
5.1 操作パネルと表示内容一覧	19
5.2 操作一覧	20
5.3 日常のメンテナンス	21
5.4 こんなときは トラブルシューティング	23
5.5 エラー表示一覧	27
6 製品の保管および廃棄	29
6.1 本製品を長時間使用しない場合	29
6.2 本製品を廃棄する場合	30

はじめに

このたびはポータブル除菌電解水生成機Cleast（クリースト） 100をお買い上げいただき、ありがとうございます。

お買い上げいただきました本製品の性能を十分発揮していただくために、この取扱説明書をよく読み、使用方法、保守管理等を十分ご理解・把握の上効率よく安全にご使用ください。

本説明書について

この取扱説明書（以降、本書）は、未永く本製品の能力を最大限発揮させ、かつ、使用者の健康と安全を確保することを目的として作成しています。

本製品を使用される前、また設置される前に必ずお読みいただき、いつでも見られるように保管してください。

本書におけるすべての著作権は、株式会社SEEMS（以降、弊社）に帰属します。本書の内容の一部または全部を無断転載することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

本書の記載には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、弊社までご連絡ください。

本書は日本語を母国語とした人を対象としています。日本語を母国語としない人に本製品に関する作業を行わせる場合は、お客様の責任で作業者に安全教育と取り扱い指導を徹底してください。

本書中の表記について

本製品は、運用者の安全を第一に考え、設計されています。しかしながら、製品の性質上、どうしても取り除くことができないリスクが存在します。本書および本製品上では、それらのリスクの重大性および危険性のレベルを、「危険」、「警告」および「注意」事項の3段階に分けてシグナルワードとして表示しています。

シンボル記号

本書では、以下の絵表示を使用しています。

	• 禁止事項 • 行ってはいけない事項を示します。
	• 強制事項 • 必ず行っていただく必要のある事項を示します。
	• 感電注意 • 特定の条件において、感電の可能性を警告します。 • 電気制御盤内、端子台、コネクタ接続部などに高電圧部や充電部があり、本書の注意事項を守らないと、感電のおそれがあります。
	• 塩素ガス注意 • 特定の条件において、塩素ガスが漏えいする可能性を警告します。 • 本書の注意事項を守らないと、塩素ガスによる皮膚刺激や呼吸器障害が発生するおそれがあります。

	・ 飲用禁止 ・ 本製品からの生成物を飲用すると、人体に悪影響があることを警告します。 ・ 本装置から生成される電解水は、決して飲まないでください。
	取扱説明書の参照 ・ 組み立て前、操作前に本書および本装置に関連する文書を読んで理解しておく必要があることを示します。
	・ 一般的警告 ・ 本書の注意事項を守らないと、けがを負う可能性があることを示します。
	・ 本製品はリチウムイオンバッテリーを使用しています。本体およびバッテリーに強い衝撃を与える、火中投入、加熱、高温環境下での充電、使用、放置を行うと、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

シグナルワード

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が高い内容について記述しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性がある内容について記述しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷 ^{※2} を負う可能性がある内容について記述しています。

※1：重傷とは、失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。

※2：治療に入院や長期の通院が必要ないもの。（上記「重傷」以外）。

また、シグナルワードの他に物損のみに関連する事項は「注記」として表示します。

注 記	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品、設備、機器などに損害や故障を引き起こす可能性がある内容について記述しています。
------------	--

補足事項

本書では、下記の補足表記も使用しています。

メモ	運用上特に知っておかなければならない情報や内容がある場合に記述します。
-----------	-------------------------------------

図、イラストについて

本書に掲載している図やイラストは参考イメージです。実際の製品と異なる場合がありますので、ご了承ください。

取扱説明書対象者の定義

本書は、本製品に関与されるすべての方を対象に作成しておりますが、安全上、記述内容ごとに能力や経験に応じ、以下に示す作業者の定義付けを行っています。

お客様 (管理責任者)	本製品および周辺装置（オプション品）の運用、衛生管理の責任者 ・ 本製品の正常な操作による安全な運用状態の管理が行え、異常状態の発見と速やかな販売店への連絡が行える方を指します。
メーカー (弊社)	電解槽、主要部品の取り扱いに関する人員 ・ 電解槽、主要部品(主要配管、基板等)の取り付けおよび交換をともなう保守点検作業は、弊社作業員が行います。
販売店	本製品の設置・保守・点検を行う人員 ・ 本製品の設置・保守についての指導を受け、熟知されている方を指します。保守担当者は本製品の分解・組み立ての知識および注意事項を熟知していることを条件とします。

適合規格

- ・ 電気用品安全法：PSE（専用バッテリー充電器（直流電源装置）、バッテリー（リチウムイオン蓄電池））
- ・ 家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－ 第2-207部：水電解器の個別要求事項

保証と責任の範囲

保証期間

本製品には、1年間の保証期間を設けています。保証書に、記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項を記入されていることを確認してください。

機械の調子が悪い場合は、まず本書の『5.4 こんなときは トラブルシューティング』をご確認ください。

それでも解決しない場合は、お買い上げいただきました販売店までご連絡ください。保証期間中であれば、無償で修理致します。

保証期間を過ぎた場合や保証規定外の場合には、有償にて修理致します。

保証規定

- ・ 正常な使用状態（取扱説明書、本製品貼り付けラベル等の注意書に従った使用状態）で保証期間内に故障した場合には、下記範囲内にて無償修理を致します。
 - ・ 保証範囲：本製品主要部の部品、修理費用
 - ・ 保証の範囲外：磨耗による消耗部品の交換
- ・ 無償修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・ 設置場所の変更があった場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証責務の除外

保証期間中でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

- ・ 取扱説明書に記載されている注意事項をお守りいただけなかった場合
- ・ 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷の場合
- ・ お買い上げ後、運送中の落下等による故障および損傷の場合
- ・ 故意または人為的要因による故障および損傷の場合
- ・ 火災・地震・風水害・落雷・その他の天変地変・異常電圧・指定外の使用電源等による故障、損傷の場合
- ・ 保証書のご呈示がない場合
- ・ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ頂いた販売店名の記入がない場合、あるいは保証書の字句を書き換えられた場合

保証書について

- ・ 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- ・ 保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- ・ 保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。従って、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等につきましては、お買い上げいただきました販売店、または弊社にお問い合わせください。

1 運用上の注意事項

本章では、お客様が本製品を取り扱う上で特に注意しなければならない安全に関する内容を記載しています。本製品を使用する人ばかりでなく、製品のメンテナンスや製品付近で作業を行うすべての人が本書の安全に関する記述をよく読み理解しておいてください。

⚠ 警告	
	本製品の使用者は、使用に先立って販売店からの使用方法説明を受けてください。また本製品の取扱説明書をよく読み、本製品の安全な運用につとめてください。

1.1 安全にご使用いただくために

ここに示した事項は、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

1.1.1 設置について

電気部品について

⚠ 危険	
	・ 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。感電、やけど、重量パーツが外れ、けがを負う可能性があります。 ・ 電解槽、電気制御盤には高電流が流れていますので、決して触れないでください。感電の原因となります。 ・ 本製品は絶対に分解・改造は行わないでください。異常作動や漏電により感電、発火の原因となります。 ・ 濡れた手で本体のスイッチ、配線等に触れないでください。感電の原因となります。 ・ 専用バッテリー（型式：SBBT50）を使用してください。

換気設備について

⚠ 警告	
	・ 本製品は必ず換気設備を設け、換気しながら使用してください。電解水には低濃度の塩素が含まれています。塩素ガスが蓄積し危険な状態になる原因となります。 ・ 万が一、塩素ガスを吸い込んだ場合や電解水をご使用になった際、身体に発疹など異常が見受けられた際は速やかに医師の診断を受けてください。

バッテリー充電器について

⚠ 警 告	
!	・ バッテリー充電器を踏みつけたり、変形させたりしないでください。火災や感電の原因となります。 ・ コンセントに電源コードのプラグを抜き挿しする場合、濡れた手で行わないでください。感電の原因となります。 ・ 専用バッテリー充電機を使用してください。火災やバッテリー性能低下の原因となります。

注 記	
!	・ 電源は、単相100Vのコンセントをご使用ください。 ・ プラグにホコリが付いていたら拭き取ってください。またプラグはコンセントに根元まで差し込んでください。火災の原因となります。

設置場所について

注 記	
⊘	・ 周囲温度が5℃以下また35℃以上になるような場所に設置しないでください。
!	・ 揮発性、引火性のある物、また粉状の物、ホコリ、油煙等が発生する場所、結露する場所の近くに設置しないでください。火災の原因となります。 ・ 腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。電気部品等が腐食し不具合の原因となります。 ・ 排水は、下水または浄化槽へ排水されるよう設置してください。

設置場所や設置作業について

⚠ 注 意	
⊘	・ 給水ホースを潰したり、変形させたりしないでください。漏水する原因となります。
!	・ 販売店もしくは弊社と事前に設置位置などの打ち合わせを行い、お客様と同意の上で設置してください。思わぬ事故の原因となります。 ・ 本製品は水を扱うため、万が一漏水が起きた場合でも支障がない場所に設置してください。

注 記	
⊘	・ 本製品は日本国内仕様です。海外では使用できません。 ・ 本製品の止水は給水口での元止め方式です。生成中はシャワーホースの出口を塞いだり、折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。水漏れや故障の原因になります。

使用する水について

注 記	
	・ 水道法水質基準に適合した硬度80mg/L以下の水を給水してください。 ・ 本体給水圧は0.15MPa～0.5MPa（推奨0.20MPa以上）の水圧を確保してください。 ・ 使用する給水管にて水撃が予想される場合は水撃防止装置を取り付けてください。 ・ 給水温度が5℃から35℃以外の水は使用しないでください。

1.1.2 使用について

本製品について

警告	
	・ サービスエンジニア以外の方は修理、分解をしないでください。感電や思わぬ事故の原因となります。 ・ 製品に無理な衝撃を加えないでください。 ・ 電源コード、バッテリーに水をかけないでください。感電・故障の原因となります。

注意	
	・ 本製品は医療用（人、動物）、食品添加物殺菌料、特定農薬の生成装置ではありません。それらの用途に使用しないでください。

注 記	
	・ 本製品の上に物を置かないでください。振動での落下や、本製品の破損や変形等の原因になります。
	・ 電解水生成の前に水の元栓(蛇口等)を開いて水漏れがないことを確認してください。水栓のネジやワンタッチ継手の緩みや錆の発生により水漏れの原因となります。なお、使用しないときは水の元栓(蛇口等)を閉めてください。

電解水について

⚠ 警 告	
	・ 本製品から生成される電解水は飲用ではありません。決して飲用しないでください。
⚠ 注 意	
	・ 本製品から生成される電解水は他の薬剤、洗剤、農薬と混合しないでください。
	・ 電解水を長時間使用する際は、ゴム手袋などを着用してください。稀ではありますが「かゆみ・赤浮腫」などが見られる場合があります。皮膚などの弱い方は、希釈した電解水でお確かめになった上でご使用ください。 ・ 電解水をご使用になった際、身体に発疹など異常が見受けられた際は、速やかに医師の診断を受けてください。

1.1.3 日頃の管理やメンテナンスについて

注 記	
	・ 本製品の上に物を置かないでください。振動での落下や、本製品の変形等の原因になります。 ・ 本製品を安全に運用するために管理責任者を設置してください。 ・ 管理責任者は使用方法をよく理解し、安全な運用を行ってください。管理責任者以外の方が設定変更等を行わないようにしてください。
	・ 異常停止した場合は直ちに使用を止め、管理責任者の方は速やかに販売店もしくは弊社までご連絡ください。 ・ 本製品を半日以上使用しない場合は、給水の元栓（蛇口等）を閉めてください。

電解水の使用について

注 記	
	本製品から生成される電解水は流通・販売しないでください。
	・ 生成水の性質・使用後について生成水には、微量の塩化物が含まれています。長期間のご使用により金属類にサビを発生させ、樹脂製品・ゴム類も劣化させる場合もありますので注意してください。 ・ 食品の原料水として使用しないでください。

電解補助剤について

警 告



- ・電解補助剤は食用ではありません。決して食用や飲用しないでください。

注 意



- ・専用の電解補助剤以外を使用しないでください。有害物質や有毒ガスを発生させ、生命に係わる恐れがあります。
- ・他の薬剤と混合しないでください。
- ・目に入ると、失明や視力低下をおこすおそれがあり、危険です。
- ・開封および溶解後はできるだけ速やかにご使用ください。
- ・電解補助液をこぼすと、時間経過とともに白い塩の結晶を生じ、金属類を錆びさせます。こぼした場合には水で流すか、十分拭き取ってください。
- ・床や器具にこぼれた時は、十分にふき取ってください。
- ・直射日光を避けて保管してください。
- ・本体を輸送にする際は、電解補助液ボトルの容器を空にしてください。
- ・空容器の廃棄は各自治体の廃棄方法に従って処理してください。
- ・以下の状況となった場合は、応急処置を施した後、速やかに医師の手当を受けてください。
- ・目に入った時目を擦らないで直ちに流水で洗い流してください。
- ・飲み込んだ場合無理に吐かせようとせず出来るだけ多量の水を飲ませるか、牛乳や生卵を飲ませてください。
- ・ガスを吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し、出来れば酸素吸入を行ってください。

2 製品概要

本製品は水道水と塩を電気分解し、除菌水を生成するバッテリー搭載型電解水生成器です。

2.1 仕様

項目	仕様（本体）	
品名	ポータブル除菌電解水生成機 Cleast（クリースト） 100	
型式	HCS-100	
電源	バッテリー式（リチウムイオン電池）	
最大連続運転時間	約4時間	
外形寸法	W250×D180×H392 mm	
生成時電解水特性 ・生成能力 (定格値)	pH	約7.5～8.5 (8.1)
	有効塩素濃度	約5～20 mg/kg (7 mg/kg)
	生成量	4 ～ 13 L/min (7 L/min)
電解質	塩化ナトリウム（専用個包装品）	
電解補助液ボトル	500mL	
補助液消費量	設定 標準, 1 : 約80分／500 ml 、設定 2, 1 + 2 : 約60分／500 ml	
製品質量	約5.0kg	
給水	水道水、水道水質基準に適合する水 0.15～0.50 MPa、4～13 L/min (0.3MPa 7L/min)	
使用温度範囲	5～35℃	
備考	- 電解水の水質・取水量等は原水の水質や周辺環境等により変化します。 - 腐食性ガスが発生する場所では使用しないでください。電気部分等が腐し不具合の原因となります。 - 揮発性、引火性のある物、また粉状の物、ホコリ、油煙等が発生する場所、結露する場所の近くでは使用しないでください。火災の原因となります。	

項目	仕様（バッテリー）
型式	SBBM50
電解質の種類	リチウムイオン
充電電圧	7.2V
容量	15000mAh
充電時間	最大約5.5時間
セル数	2S3P
サイズ	W151 x D77 x H32 mm
重量	515g
最大充電電流	6A
使用温度	5~35℃
外郭	ABS, 黒色

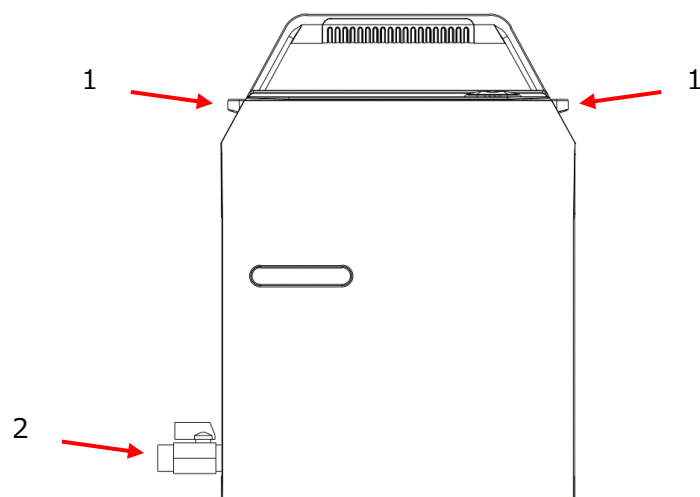
項目	仕様（バッテリー充電機）
型式	GFDA7-08404000J
入力	DC100 ~ 240 V（50/ 60Hz）、1.0A Max
出力	8.4V 4.0A（33.6VA）

2.2 各部の名称とはたらき

メモ

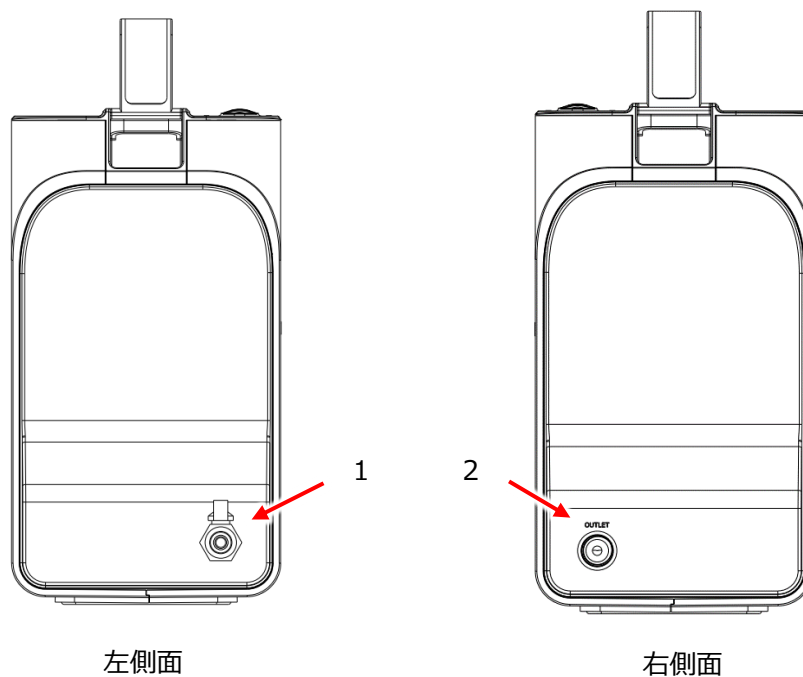
- 写真の色は印刷物ですので、実際の色と若干異なる場合があります。
- 製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。

2.2.1 本体前面



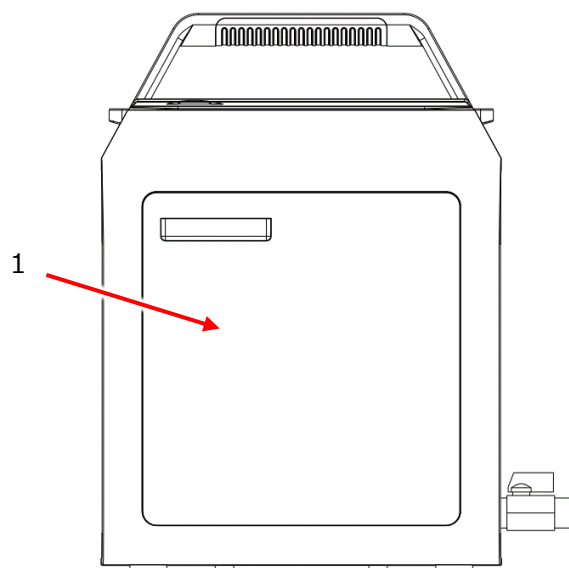
No.	名 称	説 明
1	肩掛けベルトブラケット	付属の肩掛けベルトのカラビナフックを取り付けます。
2	給水口止水バルブ(G1/2)	給水、止水するためのバルブです。付属のホースコネクタを使用し接続します。

2.2.2 本体側面

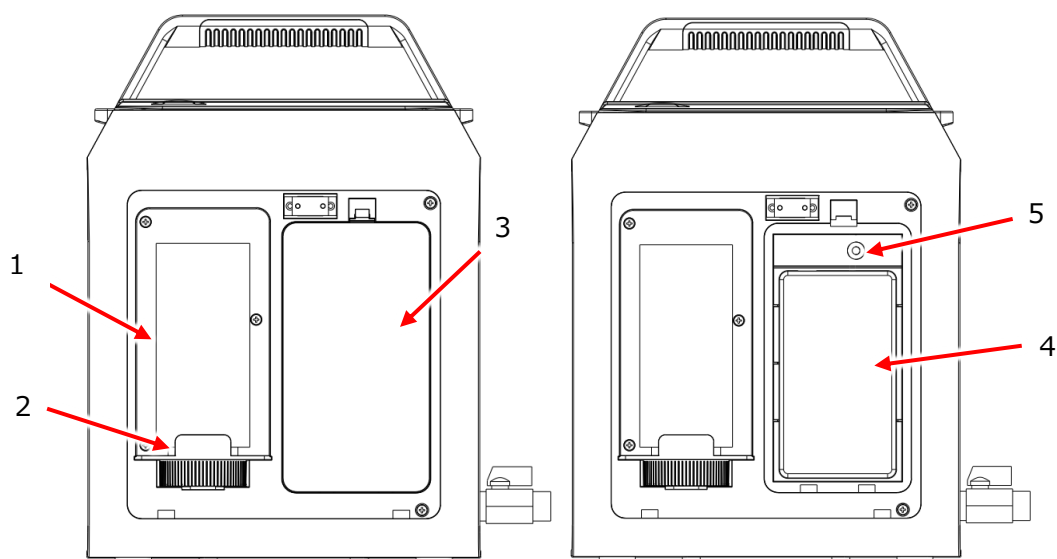


No.	名 称	説 明
1	給水口 (G1/2)	給水口止水バルブのオスネジ (G 1/2) に付属の給水ホースコネクタを接続します。
2	吐水口 (G1/2)	付属のノズルホースを接続します。

2.2.3 本体背面

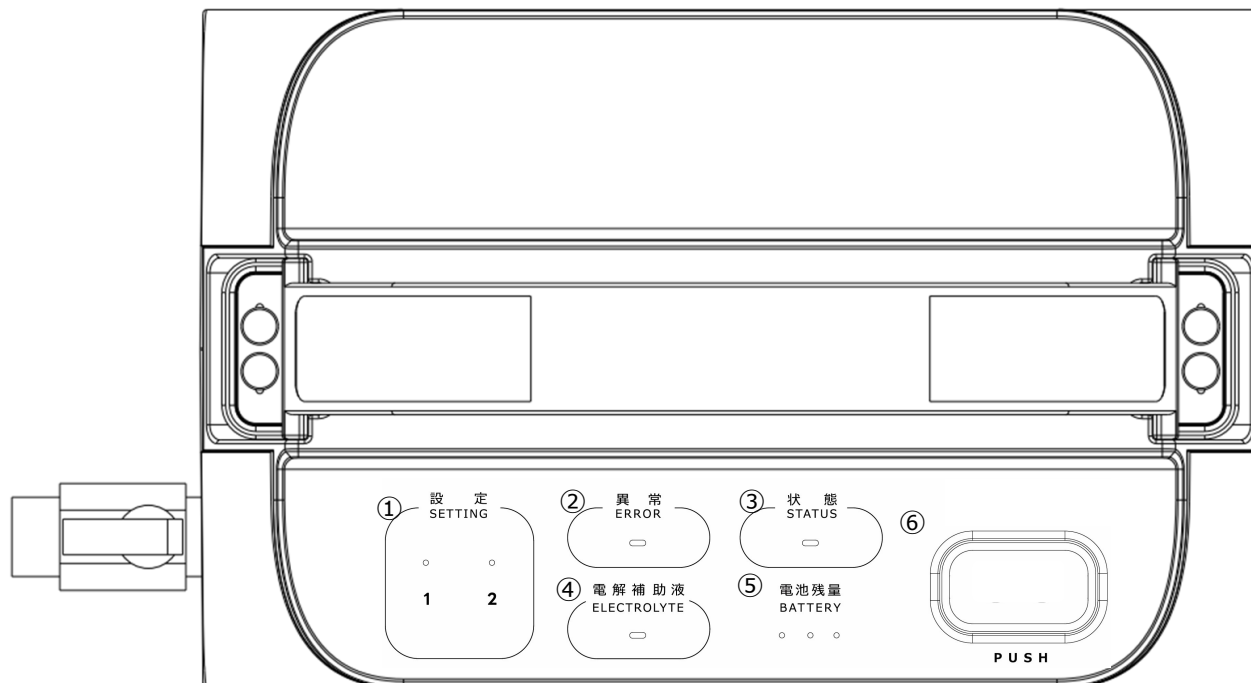


No.	名 称	説 明
1	バックカバー	補助液接続部とバッテリールームを水が直接にかぶらないように保護します。カバーの内面に簡易マニュアル（注意事項、操作方法、エラー一覧、対応方法、問い合わせ先）が記載されています。



No.	名 称	説 明
1	電解補助液ボトル	電解補助液を入れるボトル(500ml)
2	ボトルホルダー	ボトルを本体に固定する板
3	バッテリーカバー	バッテリー収納スペースの蓋
4	バッテリー	本体のケーブルに接続します。充電時は取り外して専用充電器で充電します。
5	バッテリー接続ケーブル	バッテリーに接続します。

2.2.4 本体上面



表示部とボタン操作

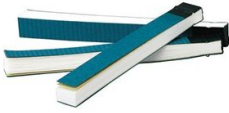
No.	名 称	説 明
①	設定(SETTING)	電気分解の強度を表示します。使用環境によって標準設定では塩素確認紙が反応しない場合に、電気分解の条件を変更することができます。
②	異常(ERROR)	異常の発生状態を表示します。
③	状態(STATUS)	電源のON,OFF状態、電気分解中、設定中の状態を表示します。
④	電解補助液(ELECTROLYTE)	電解補助液残量（有無）を表示します。
⑤	バッテリー(BATTERY)	バッテリー残量の状態を表示します。
⑥	ボタン	生成、停止、設定変更等、各種操作を行います。

2.3 付属品、消耗品

2.3.1 付属品

※本製品の梱包内に入っている付属品です。

確認	品名	数量	画像	仕様	使用用途
☐	保証書	—		オンライン登録	QRコードを読み取り、オンライン登録をお願いします。
☐	取扱説明書	—		オンラインダウンロード	QRコードを読み取り、設置使用前に必ずお読みください。
☐	電解補助剤	10袋		塩化ナトリウム	専用のボトルで溶かして電解補助液をつくります。
☐	肩掛けベルト	1個			肩掛けベルトブラケットにかけて使用してください。
☐	ホースコネクタ	1セット		適合ホース 外径：16～20mm 内径：11～15mm	本体に給水ホースを接続するアダプタ。パッキン付き
☐	ノズルホース	1本		長さ：1.5m パッキン付	本体から出水するノズルとホースのセット
☐	ACアダプタ (バッテリー充電用)	1個		100V 50/60Hz	専用バッテリーの充電器です。

確認	品名	数量	画像	仕様	使用用途
☐	専用バッテリー	1個		定格容量： 15000mAh (7.2V)	本体に取り付けて使用します。
☐	塩素確認紙	1束	 * 画像は3束	ヨウ化カリウムで んぷん紙	1束20枚 電解水の次亜塩素酸が 生成されているか確認 するために使用しま す。

メモ 本取扱説明書（PDF）は弊社ホームページより閲覧、入手可能です。

2.3.2 消耗品、オプション品

設置環境に応じて、オプション品をご使用ください。

品名	数量	製品画像	仕様	備考
電解補助剤	1箱	 10袋入り	電解補助剤	溶かして電解補助液を作ります。
塩素確認紙	1箱		ヨウ化カリウム でんぷん紙	200枚 20枚×10束入り
専用バッテリー	1個		定格容量： 15000mAh (7.2V)	本体に取り付けて使用します。

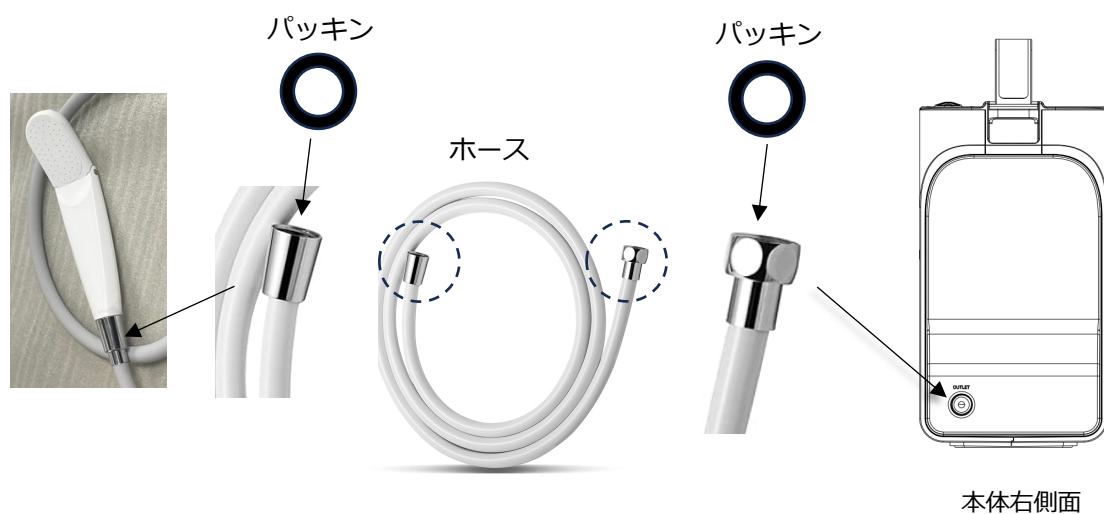
3 使用準備

3.1 使用の前に

水を取り扱う製品の特性上、準備や使用の際にや水漏れや飛散等で濡れる可能性があります。周辺環境への影響を事前に確認し、本製品が安全かつ性能を十分発揮できる状況でご使用ください。

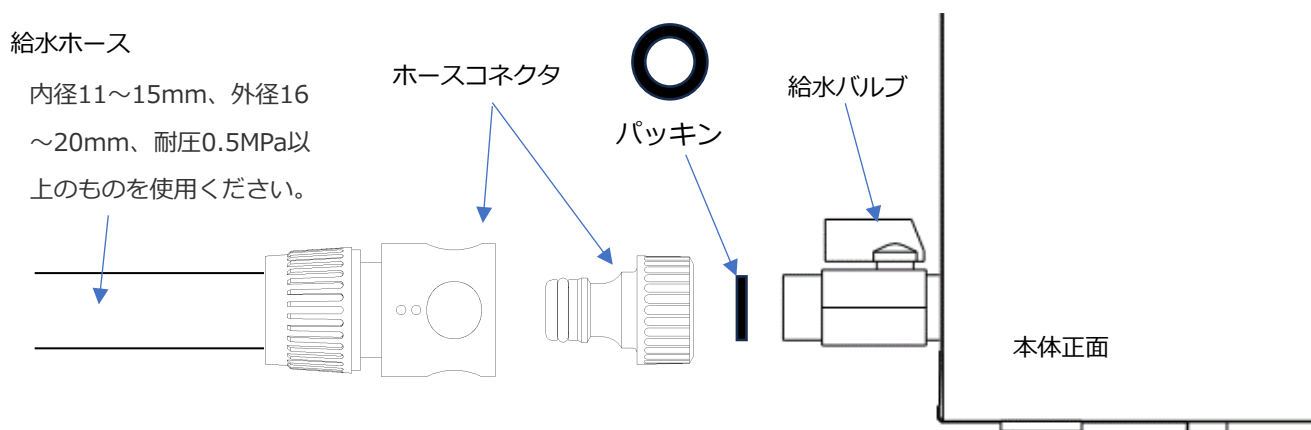
3.2 ノズルホースの接続

付属品のノズルとホースの間にパッキンを入れて接続します。ホースを本体右側面のOUTPUT（G1/2オスネジ）にパッキンを入れて接続します。



3.3 給水ホースの接続

本器を同梱品のホースコネクタを取り付けた給水栓につながったホースに接続してください。



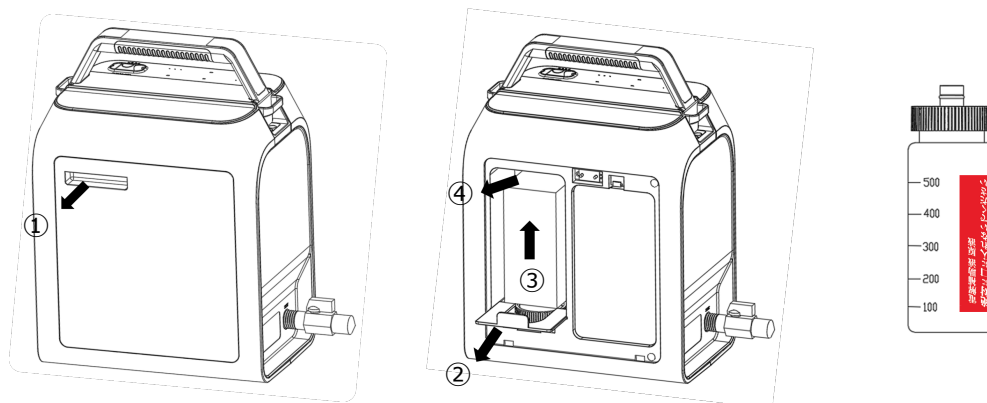
メモ

給水ホースは付属しません。ご使用の環境に応じて別途ご用意ください。
ノズルや給水ホースは確実に接続してください。水漏れの原因になります。

3.4 電解補助液を入れる

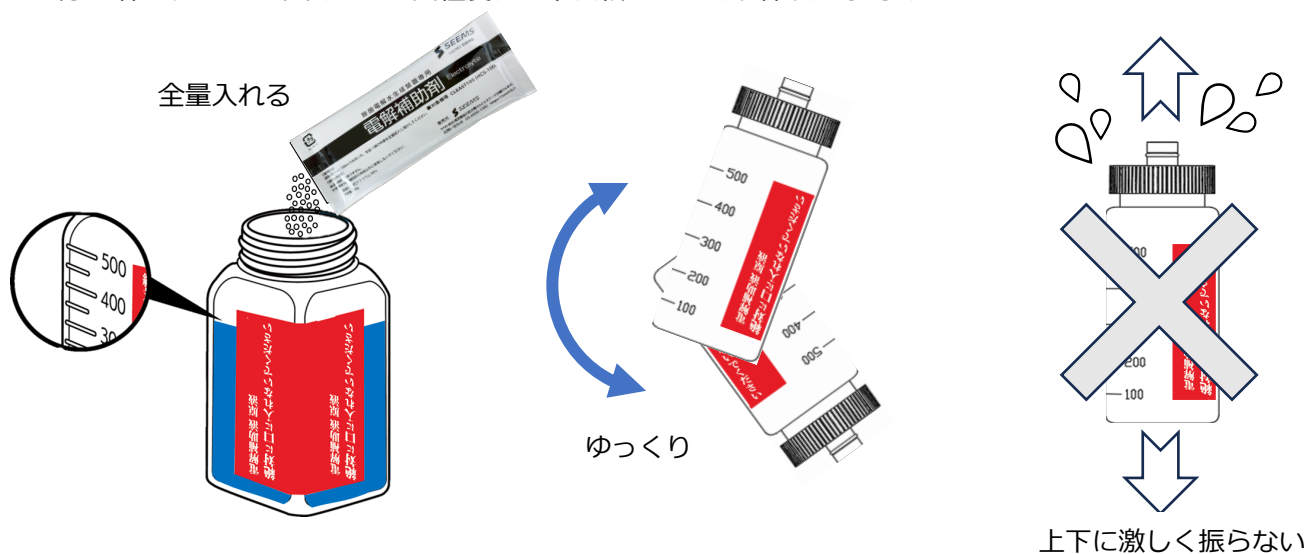
1, 電解補助液ボトルを取り出す

①本体のバックカバーを外し、②ボトルホルダー（青色）を手前に引き出します。③ボトルを上引き上げて取り外します。



2, 電解補助液を作る

ボトルキャップを外し、ふたとボトルを水で洗います。内部に異物がないか確認してボトルに水 500mlを入れます。次に専用の電解補助剤を1袋全量入れます。キャップを締め、電解補助剤を十分に溶かすためにボトルを20回程度、上下反転をゆっくり繰り返してください。

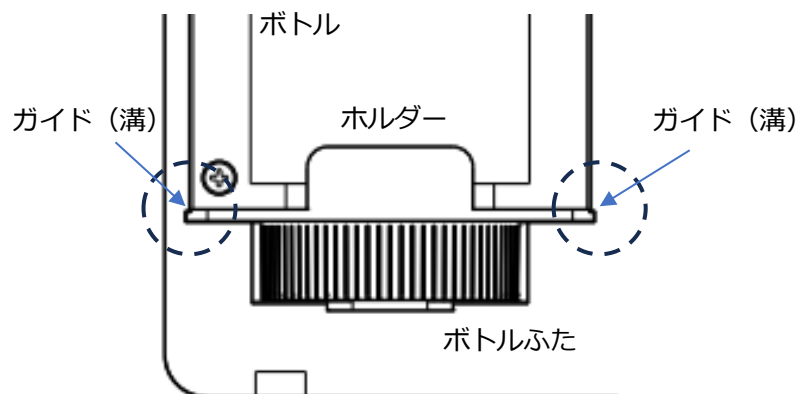
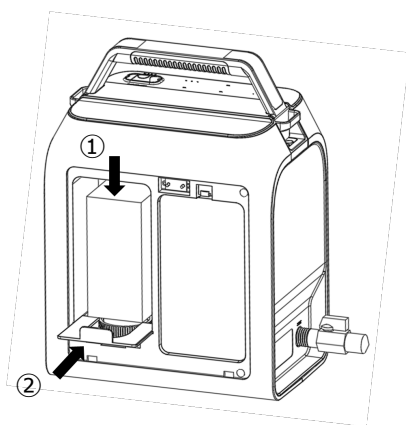


注 記

①水②電解補助液の順番で入れてください。ふたが確実にしまっていることを確認してください。上下に強くふると、電解補助液がふたの空気抜き穴から吹き出ることがあります。わずかに電解補助液が残っていた場合は、全量を使い切るか、廃棄してから作り直してください。

電解補助液ボトルの取り付け

図のように①ボトルを本体に入れ、ボトルを下方向に押しこみながら、②ホルダーをガイド（溝）にそって差し込んでください。



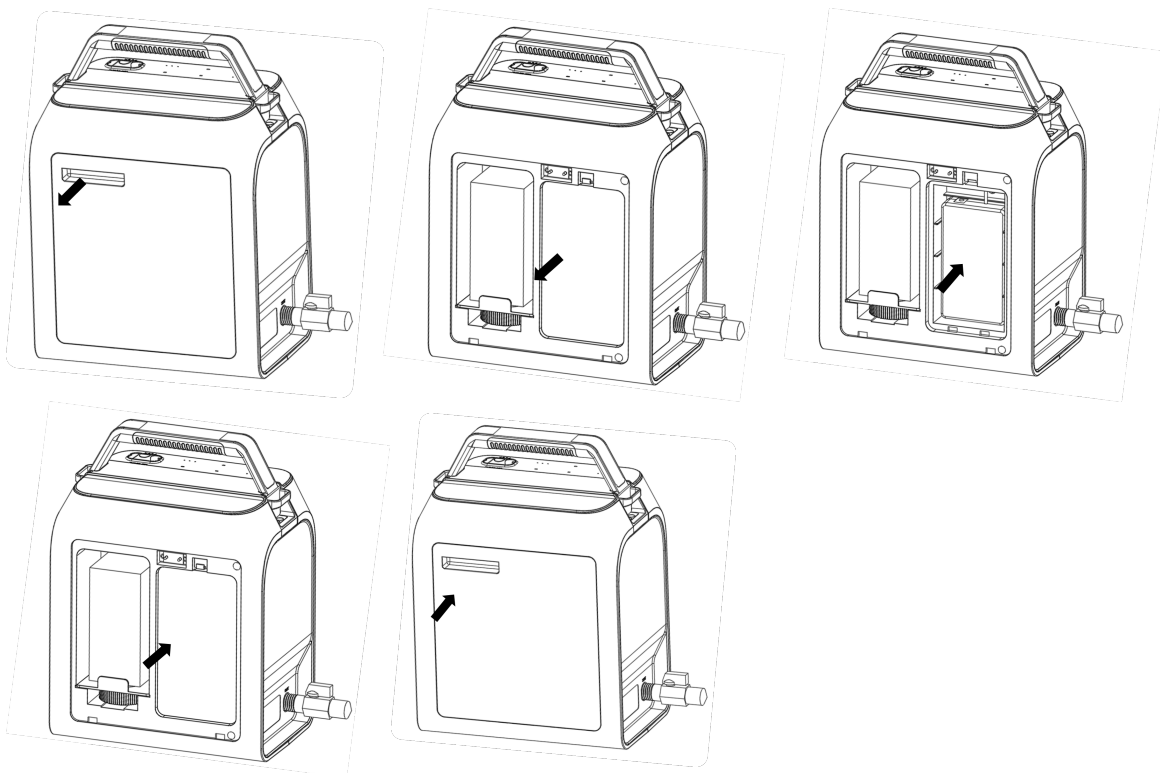
注 記

- ・ホルダーの上下面の向きを確認してください。
- ・ホルダーはガイド（溝）にそって差し込んでください。
- ・ホルダーが脱着しにくい場合はボトルを上から押し込みながら、ホルダーの脱着をしてください。
- ・ホルダー装着後、ボトルが固定されているか確認してください。

3.5 バッテリーを取り付ける

バッテリーの取り付け

バックカバーを外します。次にバッテリーカバー（青色）を外し、内部にあるバッテリーケーブルのプラグをバッテリーのコネクタに接続しバッテリーを本体に取り付けます。その後、カバーを閉めます。



注 記

ぬれた手でバッテリーの取付け、取り外しを行わないでください。感電やバッテリーの滑落による思わぬけがや、器具の破損、バッテリーの爆発などの原因になります。

4 使用方法

4.1 使用の準備

給水の準備

本体の給水バルブが閉まっていることを確認します。ゆっくりと水栓を開けて給水し、給水ホースの各接続部及び本体からの水漏れのないことを確認してください。

電解補助液の補給

本製品を初めて使用する際は、バッテリーを接続すると電解補助液ランプ（白）と状態ランプ（ピンク）が点滅しています。電解補助液ボトルを本体に正しく取り付け、ボタンを10秒間長押し（同時にビーブ音発生）すると、電解補助液ポンプが自動的に運転し、電解補助液を電解槽に充填します。2分間経過すると電解補助液ポンプは自動的に停止します。この作業中は電解水を生成することはできません。

*ご使用中に電解補助液切れとなった場合は電解補助液を補充した後、ボタンを長押しではなく、一回だけ押してください。

注 記

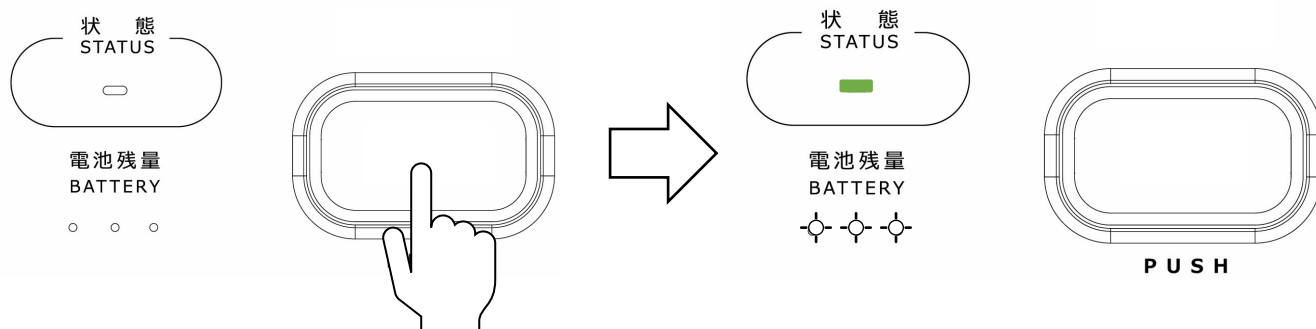


- ・補充後、添加液切れから復旧しない場合は、ボトルを再度、脱着してください。
- ・電解補助液の充填中に、ノズルホースの先端から若干塩水が漏れ出ることがあります。

4.2 生成の方法

4.2.1 電源OFF（スリープ）状態から電源ON（スタンバイ）状態へ

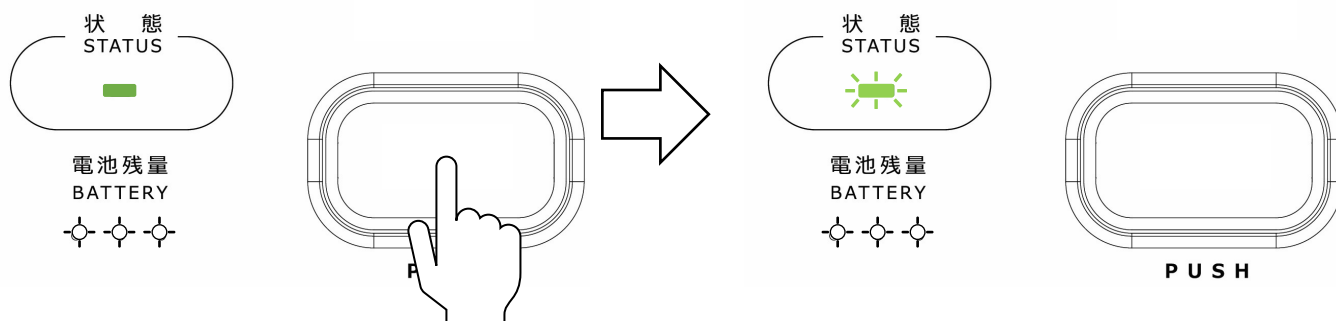
バッテリーを繋いだ状態であり、すべてのランプが消灯している場合（スリープ状態）、『PUSH』ボタンを1回押すと待機状態になります。（バッテリー残量LED点灯と状態LED点灯）。



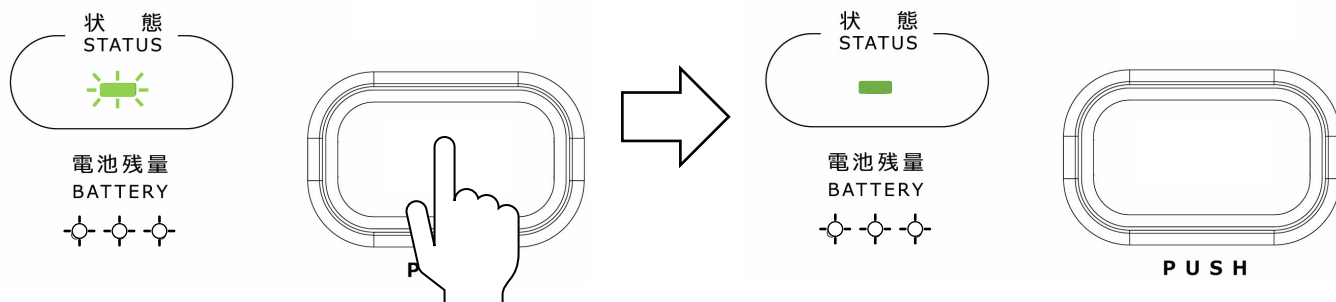
* 電池残量のランプは電池の残量に応じて点灯個数が変化します

4.2.2 生成開始

電源ON（スタンバイ）状態でボタンを押すと、電解水の生成が開始されます。



生成中にボタンを押すと、電解水の生成が中止されます。



* 電池残量のランプは電池の残量に応じて点灯個数が変化します。次項参照

4.2.3 生成水量の確認

生成中の状態

ランプ色	状態	内容
緑	点灯	待機状態を表示します。
オレンジ	点滅	電気分解中：毎分4～5L（水量が少ないため塩素が濃い。）
緑	点滅	電気分解中：毎分5～8L（標準状態）
黄	点滅	電気分解中：毎分8～13L（水量が多いため塩素が薄い。）
白	点滅	水道水（電気分解なし）を出しています。

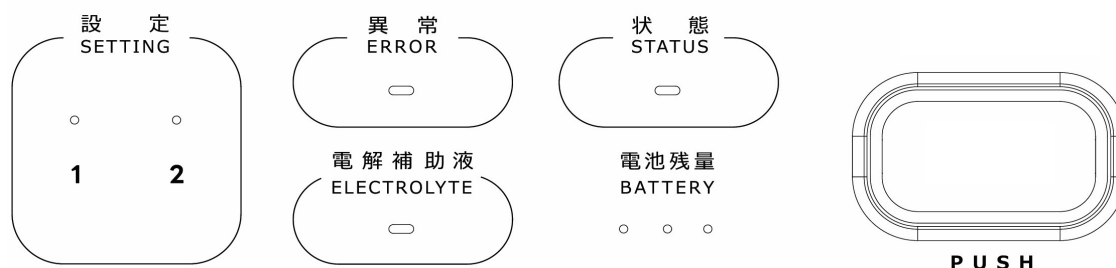
異常ランプ点灯で停止した場合

異常ランプ	内容
青点滅	給水量が毎分4L未満。本体給水口のメッシュにゴミが無いか、本体接続部（給水ホースの末端）での給水圧が0.13MPa以上あるか、接続ホースの内径が10mm以上であるか確認してください。
緑点滅	給水量が毎分13L以上。 状態ランプが緑点滅で電解水が生成されるように、水栓を調整してください。

* 異常ランプが点灯・点滅すると自動的に止水します。

5 操作パネルの表示内容と各種操作

5.1 操作パネルと表示内容一覧



表示部	状態		内容
設定 SETTING	—	消灯	標準設定
	1	点灯	電解電流を増加する。*バッテリーの消費が多くなります。
	2	点灯	電解補助液の添加量を増量する。*電解補助液の消費が多くなります。
	1と2	点灯	電解電流を増加し、電解補助液を増量する。 *バッテリーと電解補助液の消費が多くなります。
異常 ERROR	—	消灯	異常無し
	青	点滅	給水量不足(毎分3.5L未満)
	緑	点滅	給水量過多(毎分13L超)
	赤	点滅	電解槽の過電圧
	白	点滅	電解槽、チューブポンプの交換時期 (使用開始から2年経過したもしくは、電解水の生成時間が500時間を超えた。)
	緑	点灯	電源ON(スタンバイ)の状態
	橙	点滅	電解水生成中の流量が毎分4～5L
	緑	点滅	電解水生成中の流量が毎分5～10L
	黄	点滅	電解水生成中の流量が毎分10～13L
	白	点滅	電気分解せずに取水している状態
	青	点灯	電気分解の条件が変更可能な状態
	青	点灯	電気分解の条件が変更可能な状態
電解補助液 Electrolyte	—	消灯	電解補助液が入っています。(正常)
	ピンク	点灯	工場出荷時状態
	白	点滅	電解補助液が入っていない
電池残量 BATTERY	3個	点灯	残量70%以上
	2個	点灯	残量40～70%
	1個	点灯	残量40%以下
	3個	点滅	残量がないため運転できない

5.2 操作一覧

操作一覧表
電源ON（スタンバイ）にする
すべてのランプが消えた状態（電源OFF：スリープ）でボタンを1回押す。 → 状態 STATUS : 緑点灯+ 電池残量 BATTERY : 点灯
電源OFF（スリープ）にする
電源ON（スタンバイ）状態で3秒間ボタンを押さない。 →全ランプ消灯
電解水を生成する
電源ON（スタンバイ）の状態でボタンを1回押す。 → 状態 STATUS : 緑点滅+ 電池残量 BATTERY : 点灯
電解水の生成をとめる
電解水生成中にボタンを1回押す。 →電源ON（スタンバイ）状態
水を出す（電気分解しないで水を出す）
電源ON（スタンバイ）の状態でボタンを2回連続で押す。 → 状態 STATUS : 白点滅+ 電池残量 BATTERY : 点灯
水をとめる
取水中にボタンを1回押す。 →電源ON（スタンバイ）状態
異常ERRORの表示（ビープ音）を解除する
ボタンを1回押す。もしくは20秒放置する。 →電源ON（スタンバイ）状態 *エラーの内容によっては原因が解決するまでは、再度ボタン押すたびに異常ERRORランプの点灯およびビープ音が発生します。
電解補助液ポンプを強制的に運転する
ボタンを10秒長押し（ビープ音）する。 → 設定 SETTING 2 : 白点滅 + 電解補助液ポンプ120秒運転 * ボタンをおすとポンプを停止し、電源ON（スタンバイ）状態に戻る。
設定 SEETING を変更する
ボタンを5秒間長押しする。 → 状態 STATUS : 青点灯 * 青点灯の状態で、ボタンを押すたびに消灯→1のみ点灯→2のみ点灯→1と2が点灯→消灯に変更。ボタンを押さずに3秒放置すると設定が保存され、電源ON（スタンバイ）状態になる。

5.3 日常のメンテナンス

お客様および管理責任者の方に行っていただく本製品のメンテナンスは、以下となります。

注 記	
!	・ 本器の周りに水漏れがないか確認し、水漏れのある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
	・ 異常ランプが白く点滅している場合は、部品の交換時期です。お買い求めの販売店にご連絡ください。

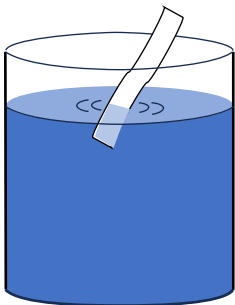
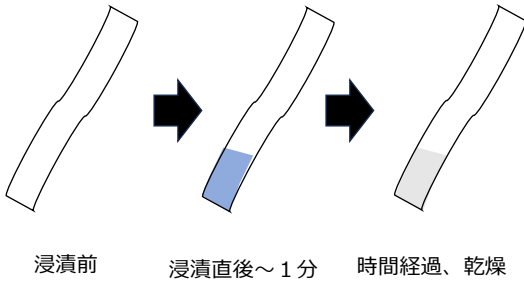
5.3.1 有効成分（次亜塩素酸）の確認

生成された水に除菌効果の主成分である有効塩素（次亜塩素酸）が含まれているか確認します。

有効塩素の確認方法

有効塩素の確認には、付属の塩素確認紙をご使用します。

- ① 電解水を1分程度生成した後に1～2L分、容器に汲み取ります、その水に塩素確認紙の先端約2cmを5秒間浸します。
- ② 電解水に浸した部分の色が、紫色に変化していることを確認します。

	
	
① 塩素確認紙を束から1枚ちぎりとり、1～2L汲み取った電解水に先端2cm程度を5秒間浸し取り出してください。	② 次亜塩素酸が含まれている場合、浸漬直後から1分程度で青紫色に変色することを確認します。＊時間経過や乾燥により紫色が消失していきます。
＊ 使用後の塩素確認紙は再利用できませんので廃棄してください。 ＊ 保管状態によっては塩素試験紙が劣化し、変色しにくい場合があります。 ＊ 本製品の塩素確認紙は正確な次亜塩素酸の濃度を測定するものではありません。	

＊ 本製品から生成される次亜塩素酸を含む電解水は、すべての菌やウイルスを除菌できるものではありません。

5.3.2 pHの確認

電解水のpHの確認はメンテナンスの際に販売店にご依頼ください。

注 記	
!	pH7.5～8.5の範囲から大きく異なる場合は、販売店にご連絡ください。

5.3.3 日常の清掃および管理

電解補助液ボトル、バッテリーを取り外した本体を、柔らかい布に水を浸しよく絞ってから拭いてください。

注 記



本体を分解しないでください。みがき粉、シンナー、ベンジン、ガソリンや灯油などの溶剤は使用しないでください。傷、変形、変色の原因となります。
本製品の上に物を置いたりしないようにしてください。

5.4 交換部品

製品を使用することで消耗していくもの、また交換が必要なものがあります。

・電解槽

電気分解するための電極を含む電解槽が1個搭載されています。

交換目安：電解時間約500時間。

・チューブポンプ

電解補助液を電解槽に供給するポンプが1個搭載されています。

交換目安：電解水生成時間約500時間。

* 使用する環境や原水の水質により、交換目安が短縮し、早期交換を必要とすることがあります。

メ モ

交換部品の価格については、部品代のほかに交換作業費がかかります。また交換作業は本体を弊社指定工場にお送りいただき、交換作業させていただきます。詳細な費用等はこちらの購入の販売店へお問い合わせください。

5.4 こんなときは トラブルシューティング

以下に予想されるトラブルと対処方法を記載します。

注 記	
	機器に不具合がある場合、使用を中止して本製品への給水を閉めてください。その後、バッテリーを外してください。その他、ご不明な点などあわせて購入した販売店までご連絡ください。

症状	原因	対応
電源が入らない	バッテリープラグが抜けている	バッテリーが製品に確実に差し込んでいるか確認してください。
	バッテリーが充電されていない	バッテリーを充電して再度ご確認ください。それでも電源が入らないのであれば、販売店へご連絡ください。
電解水が取水できない	蛇口や給水栓が閉まっている	給水栓を開け、再度ご使用ください。
	メッシュにゴミなどが詰まっている	本体の給水口に接続したユニオンアダプターで挟み込むメッシュにゴミなどが詰まっていると水の流れが悪くなる場合があります。
操作ができない	プログラムが止まっている	本体からバッテリーを一度取り外した後に、再度取り付けなおしてください。
電解水の効果が落ちたような気がする	電解槽やポンプが劣化している	電解水に浸した塩素確認紙が紫色に変色しない場合は、電解槽やポンプの性能が劣化している場合があります。販売店へご連絡ください。
運転ボタンを押すとガリガリ音の後、エラーで停止する。	溶けていない塩や異物がチューブポンプに入り込んだ。	補助液タンクの塩水を抜いて水道水だけを入れて本体にセットします。その後、運転ON（スタンバイ）状態→運転ボタン10秒長押ししてチューブポンプを自動運転（2分間）する。
生成停止してもノズルヘッドよりポタポタと水が垂れる。	電磁弁に異物が詰まっている	5.4.1ノズルヘッドからの水垂れ対処方法を実施願います。

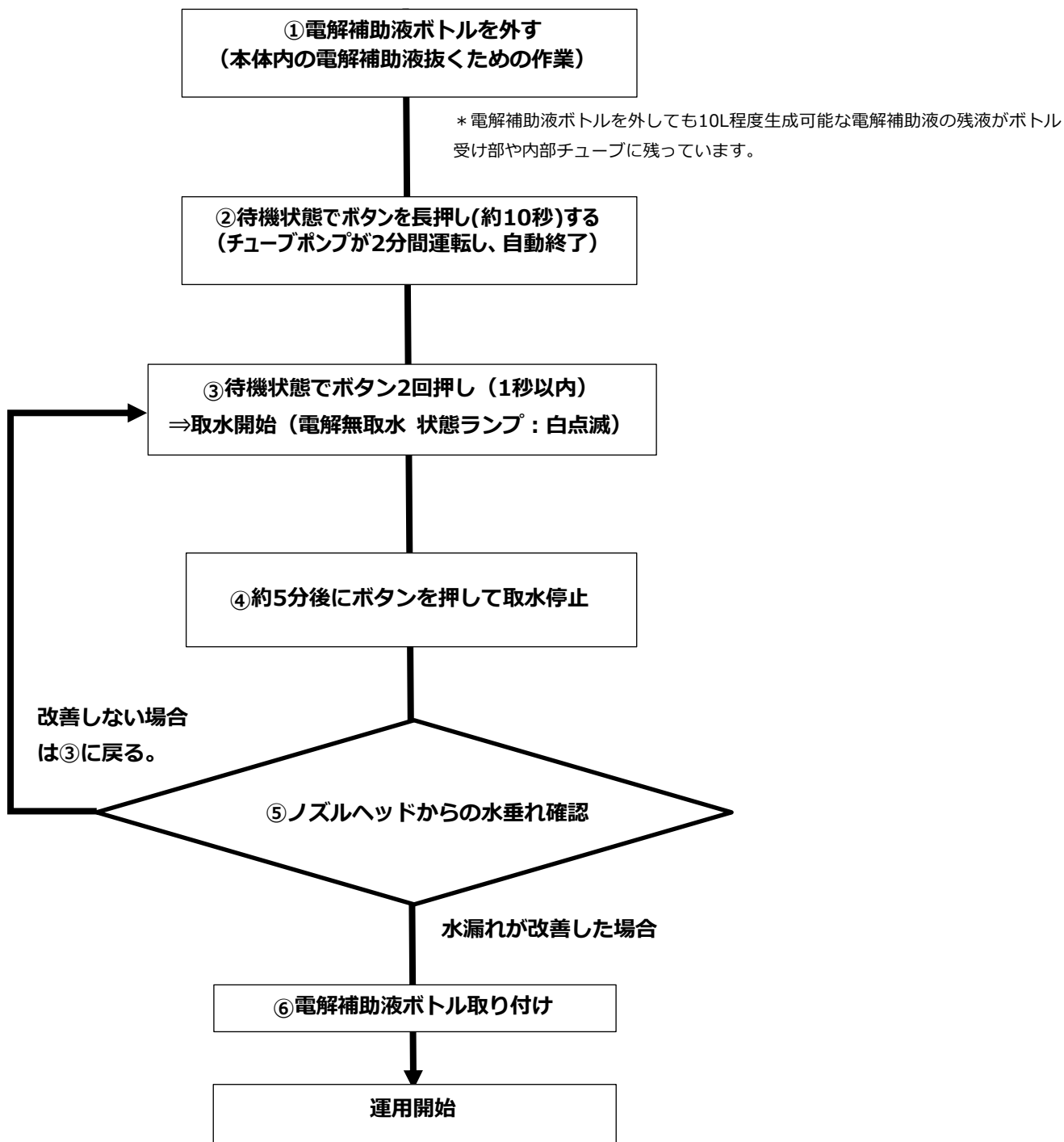
5.4.1 ノズルヘッドからの水垂れ対処方法

症状	原因	
生成停止してもノズルヘッドよりポタポタと水が垂れる。	メッシュフィルターの装着不良	メッシュフィルターが正常に装着されておらず、既存給水管や給水ホースからの異物が弁体部に詰まっている。
	弁体部の固着	長期間使用しないことで原水に含まれるミネラル成分や鉄分などが電磁弁の弁体部で固形化し弁体を固着させている。

予防方法
新たに製品を取り付ける水道の蛇口やホース類は10分ほど放水し内部の異物を除去して置く。 長期使用しない場合は6 製品の保管と廃棄,6.1 長期使用しない場合を参照し適切に作業、保管する
対処方法
本製品内の電磁弁等に絡んだゴミや異物を通水にて押流しをおこないます • 『5.4.2所定量の通水』 • ※ 『5.4.2所定量の通水』で解消できない場合に『5.4.3通水の短時間繰り返し』を行ってください。

※次ページ以降の方法でポタポタ垂れが止まらない場合は、修理が必要となります。

5.4.2 所定量の通水手順

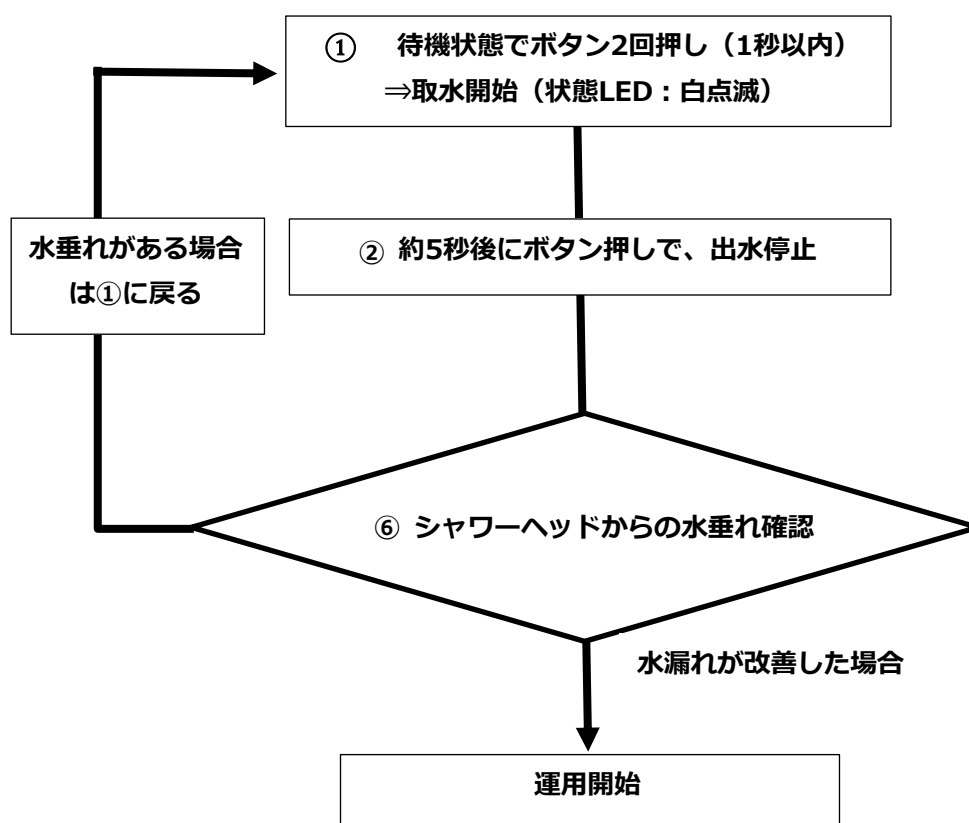


注 記



- ・ 水垂れが有る場合は、⑤までの工程を2～3回繰り返してください。
- ・ 水垂れが解消しない場合は、次項「5.4.3 通水の短時間繰り返し」を行ってください。

5.4.3 通水の短時間繰り返し手順



注 記



・ 水垂れが止められない場合は、販売店にご連絡ください。

5.5 エラー表示一覧

異常名称	内容・原因・確認事項・対処方法	
異常ランプ 青点滅	状態	- 給水量が少ない。 - 電解水生成中に生成水量が毎分4Lを下回ると異常ランプが青点灯しビープ音を発して生成を停止します。
	原因・確認事項	- 本体給水バルブや水道の元栓が閉じている。 - 給水口のメッシュに異物が詰まっている。 - 本体に給水される水圧が低い。 - 給水ホースが細い。
	対処方法	- バルブや元栓を開く。・メッシュの異物を取り除く。 - より太いホースを使用する。0.15MPa、4L/min以上の給水栓につなぐ。 * ボタンを押すか20秒放置すると異常ランプとビープ音は消えます。
異常ランプ 緑点滅	内容	- 給水量が多すぎる。 - 電解水生成中に生成水量が毎分13Lを超えると異常ランプが青点灯しビープ音を発して生成を停止します。
	原因・確認事項	原水の給水量、給水圧が高い。(0.5MPa超)
	対処方法	- 給水バルブを調整し、流量を13L/min未満(状態ランプ：黄点滅、推奨：緑点滅)に調整する。 - 減圧弁を給水側に取り付ける。 * ボタンを押すか20秒放置すると異常ランプとビープ音は消えます。
異常ランプ 赤点滅	内容	- 電解槽にかかる電圧が高すぎる(電解槽の性能低下) - 電解槽に規定値以上の電圧がかかった場合、異常ランプが赤点灯しビープ音を発して生成を停止します。
	原因・確認事項	- 補助液ポンプの故障などにより電解槽内の電解補助液濃度が低下した。 - 電極が劣化した。電解補助液のチューブに異物が詰まった。
	対処方法	- 部品の交換や洗浄が必要です。販売店にお問い合わせください。 * ボタンを押すか20秒放置すると異常ランプとビープ音は消えます。
異常ランプ 白点滅	内容	運転時間が500時間を超えた。使用開始から2年が経過した。
	原因・確認事項	電解槽やチューブポンプの交換時期。
	対処方法	- 部品の交換が必要です。販売店にお問い合わせください。 * ボタンを押すか20秒放置すると異常ランプとビープ音は消えます。
電解補助液 ランプ 点滅	内容	電解補助液が供給されていない。
	原因・確認事項	- 電解補助液ボトルが空になっている。 - 電解補助液ボトルが正しく取り付けられていない。
	対処方法	- 電解補助液が空の場合は補助液を補充してください。 - 電解補助液の残量がある場合は一度取り外し、ふたを開けてエア抜き弁に異物がついていないか確認し、ふたを締めて本体に取り付けてください。 * 補助液ボトルを正しく取り付け、ボタンを10秒間長押し(ビープ音あり)すると、自動的に電解補助液ポンプが2分間運転して、電源ON(スタンバイ)状態に戻ります。
電池残量 ランプ 点滅	内容	- バッテリー残量がない - バッテリーの残量が不足しています。電池残量ランプ3つが点滅し、機能を停止します。
	原因・確認事項	バッテリーの残量がない。
	対処方法	- バッテリーを取り外し充電してください。 - 充電されているバッテリーに交換してください。

注 記

- 販売店に修理を依頼する際の輸送時の注意事項
- ①本体内部の補助液ボトルは、空にして梱包して下さい。
- ②本体縦置き状態で梱包し、天地無用の注意喚起をお願いします。
- 【理由】輸送時の本体内部からの水漏れ防止のため

6 製品の保管および廃棄

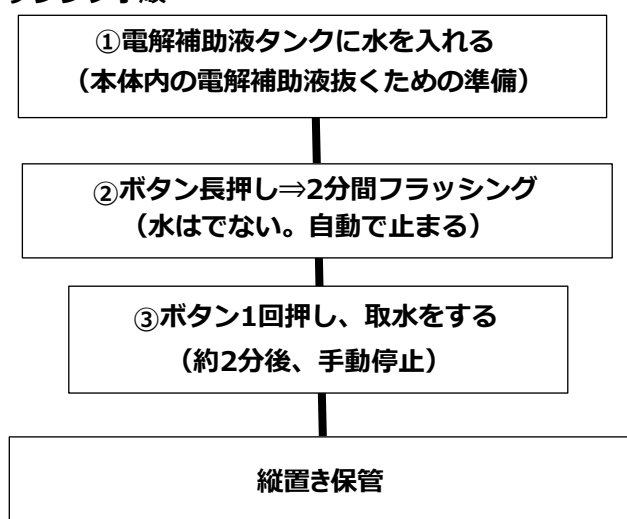
6.1 本製品を長期間使用しない場合

本製品を1週間以上使用しない場合の停止手順、その後の使用停止から復帰する手順を以下に示します。

使用停止時

- 1 電解補助液(添加液)ボトル内部の電解補助液を捨て、水を入れます。
- 2 ボタンを長押し(10秒)します。(2分間自動フラッシング)
- 3 出水をします。(2分程度)
- 4 補助液(添加液)ボトル内部の水を捨て、ボトル内部を空きにします。
- 5 バッテリを取り外します。
- 6 本製品に給水している蛇口を閉めます。
- 7 本体を取りはずす場合は、取水ノズル、給水ホースを取り外し、軽く本体を振って内部の水を排出した後、付属のキャップをしてください。また梱包、保管する場合は必ず縦置きしてください。

フラッシング手順



使用再開時

- 1 本製品への給水ホースを外し、フラッシングを実施します。
- 2 本製品に給水している蛇口を閉じ、給水ホースを接続します。
- 3 本製品に給水している蛇口を開けます。
- 4 本製品の電源をONにします。
- 5 電解水を3分ほど生成します。
- 6

注 記



・ 本体へのゴミや異物混入を防ぐ為、給水ホースを接続する前に水道管のフラッシングを行ってください。(フラッシングとは、配管加工、水の停止などで発生する管内の汚れの洗い流しのことです)

	・特に、水道管を分岐して給水する場合は、ゴミや異物が混入しやすいので、十分にフラッシングを行ってください。 ・※フラッシングの際は、水を桶、ボール等で受けて、汚れが無くなるまで行ってください。
--	---

注 記	
	・使用再開直後の電解水は、使用せず、そのまま捨ててください。 ・使用再開後の電解水は付属の塩素確認紙で確認してから使用してください。

6.2 本製品を廃棄する場合

6.2.1 本体の廃棄

本体を廃棄する場合は、設置場所のある地方自治体に処理方法をご確認ください。

主要材質：ボディ(ABS樹脂)、内部ホース(PP樹脂)、
内部部品に一部ステンレスなどの金属を使用しています。

6.2.2 梱包材等の廃棄

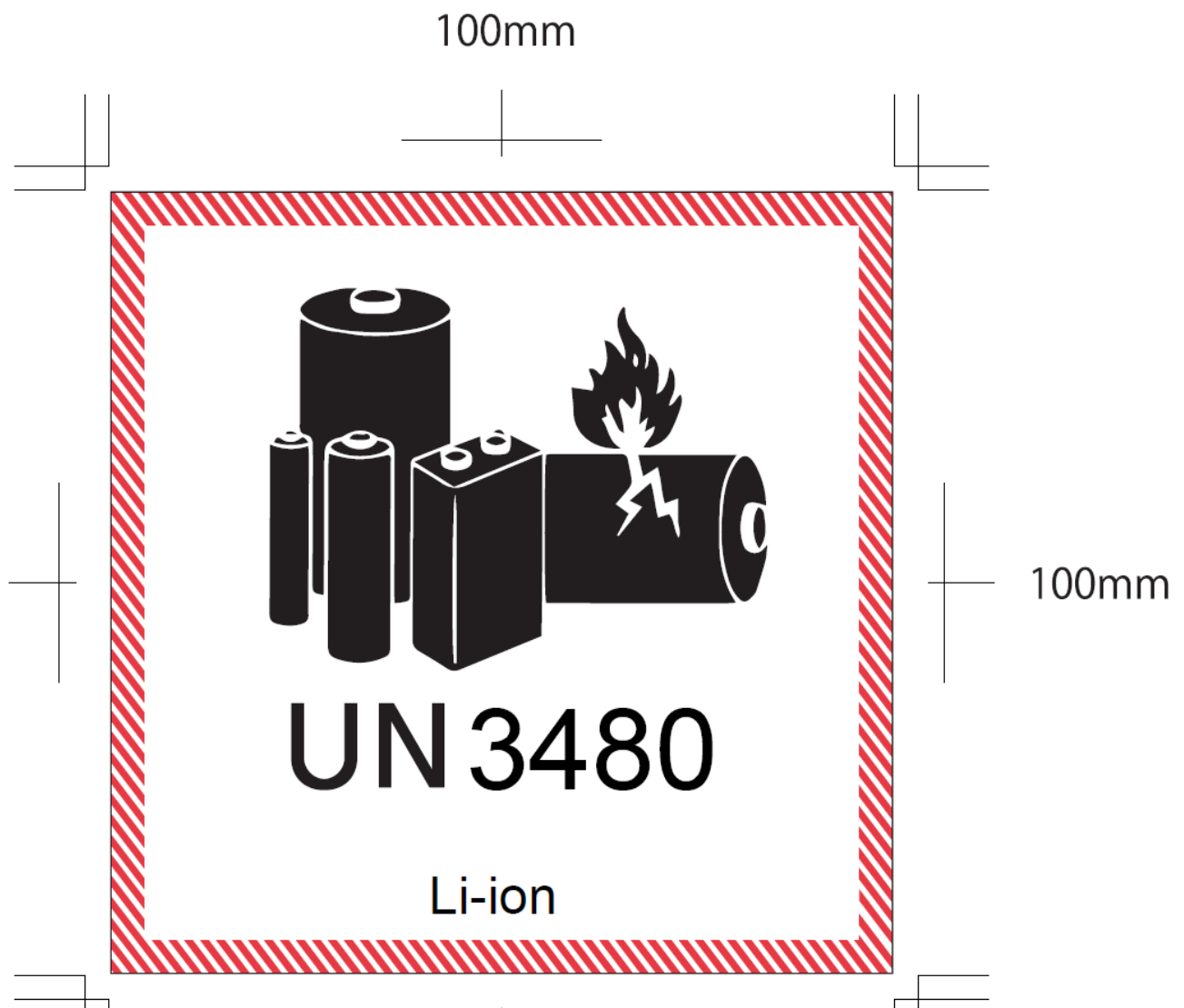
梱包材などを廃棄する場合は、設置場所のある地方自治体に処理方法をご確認ください。

主要材質：段ボール、発砲スチロール、ポリ塩化ビニル等

6.2.3 リチウムイオン電池の廃棄

リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になった充電式電池は家庭ごみとして廃棄しないで本体から取り出し、購入した販売店にご連絡をお願いいたします。その場合、ショートの危険がありますので、金属端子部をテープ等で絶縁してください。また、運送会社を利用して発送する場合は梱包する箱に次項のマーク（赤枠内）を表示する必要があります。カラーコピーして梱包の側面もしくは上面などわかりやすい場所に貼り付けてください。

リチウムイオンの梱包に貼り付けるマーク
カラー印刷してお使いください。



改訂履歴

[illegible]

販売店： 本装置に関するご質問やご相談、不具合や緊急の場合のご連絡は、以下にお願いいたします。

アシストメイク株式会社
東京都板橋区前野町1-45-22 811号
TEL: 03-6750-9654
Mail: info@assist-make.co.jp
<https://assist-make.co.jp/>

発売元



〒141-0032 東京都品川区大崎3-5-2 エステージ大崎 6 階612
<https://seemsj.jp>

開発・製造元



●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。 ●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。 ●製品には、ご使用上の注意を表示したステッカーを貼付しています。